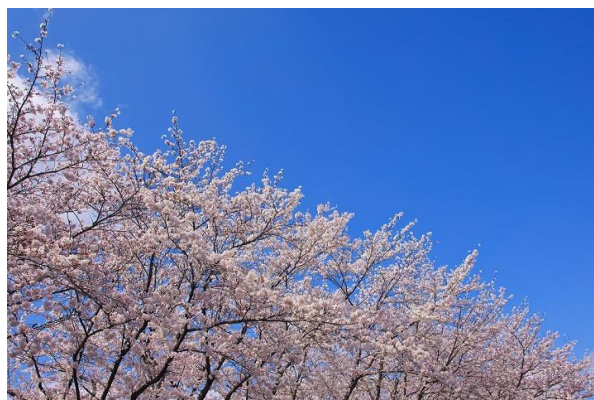




「お客さまの真心を添えて」6本目のさくらを東北に植樹

11/27 (日)、宮城県山元町での「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加します
支援商品の販売により、東日本大震災の被災地に苗木を寄贈



株式会社コックス（本社：東京都中央区日本橋浜町 1-2-1、代表取締役社長：吉竹英典）は、**2016年11月27日（日）、宮城県亶理郡山元町にて開催される「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加**します。この度の植樹会では、東北復興支援の一環として当社が参加する「さくら並木プロジェクト」の**2015年度支援商品の販売による寄付から、当社従業員が1本のさくらの苗木を植樹**いたします。この度植える苗木を含め、当社からのさくらの寄贈・植樹本数は、**累計6本**(※)となります。

この度の植樹会は、**JR常磐線の全線開通**を12月に控えた「常磐線開通記念」として開催されるものです。

□ ■ **お客さまのご支援によりさくらの苗木を寄贈・植樹します** ■ □

「さくら並木プロジェクト」は、津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすることを目的に、**東北の津波到達地にさくらを植樹する、NPO法人さくら並木ネットワークの取り組み**です。

当社はこの活動に賛同し、2014年より同プロジェクトに参加しています。昨年も、当社の主力ブランド「ikka」からオーガニックコットンブランド「orgabits（オーガビッツ）」の素材を使用した、**同プロジェクトの支援商品を発売**しました。お客さまのお買い上げにより、2015年度分として販売額の一部、**約5万円を同プロジェクトへ寄付**いたしました。この金額はさくらの苗木**3本分に相当**します。この度の植樹会ではこのうち**1本の植樹**を行ないます。残り1本分については、これまでに植樹した苗木のメンテナンス費用としてご活用いただけるよう、検討しております。

当社は今後も、一日も早い東北復興に向け、ファッションを通じた支援活動を継続してまいります。

□ ■ **植樹会について** ■ □

この度の植樹地は、新設されたJR常磐線の線路が通る山元町戸花山です。震災以後不通となっていた、JR常磐線が通る**戸花山のトンネルを抜けた場所**に、**約40本の植樹**を行ないます。戸花山つつじ・桜サポータークラブの主催、オーガビッツプロジェクトの協賛により開催します。同プロジェクト参加者、地元住民の方々が、**一緒にさくらを植えるほか、食事会なども予定**されています。また植樹会後には、福島県大戸浜で**本年3月に植えた苗木の様子も視察**する予定です。

日時：2016年11月27日（日）10時～14時
場所：宮城県亶理郡山元町戸花山常磐線トンネル前
植樹本数：約40本（うち当社寄贈1本）

主催：戸花山つつじ・桜サポータークラブ
企画：NPO法人さくら並木ネットワーク
協賛：オーガビッツプロジェクト

※本年3月の植樹会時点では、2015年ご寄付分から3本を順次植樹予定であり、「当社からの苗木の寄贈は累計で7本になる」としておりましたが、1本分をメンテナンス費用の寄付とするよう検討しております。この度の植樹での累計本数は6本となります。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ

株式会社コックス 広報グループ 新海 Tel：03-5821-6070（代表）(m-shinkai@cox-online.co.jp)



ikka LOUNGE



CURRENT



<コックスの東北復興支援の取り組み>

当社は、東日本大震災の被災地の一日も早い復興を願い、ファッション企業としてできる支援活動に取り組んでおります。今回植樹を行なう「さくら並木プロジェクト」へは2014年より参加しています。毎年、基幹ブランドの「ikka」より支援付き商品を販売し、本年も2月より、春向けの支援対象商品をメンズ・レディスそれぞれで発売しております。

また、震災時の津波により稲作などが困難になった農地において、「綿」の栽培から紡績・商品化・販売まで一貫して実施する「東北コットンプロジェクト」にも参加し、収穫した綿花から商品化された衣料品の販売をしています。

(株)コックスコーポレートサイト「環境・社会貢献活動」<http://www.cox-online.co.jp/csr/>



▲「ikka×さくら並木プロジェクト 2016」支援商品
SAKURA レース切替えプルオーバー (レディス)



▲「東北コットンプロジェクト 2015」綿花収穫祭の様子

<さくら並木プロジェクト>

さくら並木プロジェクトは、東日本大震災の津波の到達地に、桜を植樹する活動で、NPO法人さくら並木ネットワークが行なっています。植樹した桜が美しい



並木となり、犠牲となった多くの方を鎮魂すること、未来まで津波の被害を風化させないこと、未来の津波発生時に避難の目標となって住民の命を守ること、そして将来多くの人を訪れる観光地になり、被災地の経済復興支援となることを願い、記憶に残るさくら並木の造成を目指しています。2014年より始まった、オーガビッツ×さくら並木プロジェクトの取り組みは、当社のブランド「ikka」をはじめ、様々なアパレルブランドが賛同・参加しています。

(<http://sakuranamiki.jpn.org/archives/4689.html>)

<オーガビッツ>

日本で最も多くのアパレルブランドが参加するオーガニックコットン普及プロジェクト。オーガニックコットン100%にこだわらず10%の商品を100倍の人に届けるという「逆転の発想」で、多数のブランドが参加しています。その活動は原産国農家やNPO法人の支援へと拡大し、一枚の服を通してお洒落に参加出来る社会貢献活動としても輪が広がっています。



従来の栽培方法で生産されている綿花には、世界中で使用されている殺虫剤の約15%、農薬の約7%が使用(*出典: Textile Exchange)されており、土壌汚染、環境問題等様々な問題を内包しています。一方、オーガニックコットンとは、農薬や化学肥料を3年以上まったく使用していない農地で、有機栽培された綿花を指します。オーガニックコットンの需要が高まることで、従来の栽培方法による綿花栽培が減少し、上記の問題が改善されていくことが期待されます。(<http://orgabits.com/>)